

研究推進委員長及び執筆者紹介（論文掲載順）

野津 隆志（のつ たかし） 委員長

兵庫県立大学名誉教授 博士（教育学）
ちうんラボ（智雲ボランティア活動研究所）代表
URL https://note.com/navian_2025/n/n38dd85b057a1?sub_rt=share_pb

専門

比較教育学、教育人類学—アジアの子どもの教育と人権に関する研究

著書

『アメリカの教育支援ネットワーク』東信堂 2007年
『タイにおける外国人児童の教育と人権—グローバル教育支援ネットワークの課題』ブックウェイ 2014年
『市民活動概論—ひょうごとアジアのNPO・NGO・ボランティアを学ぶ—』学術研究出版 2015年
『私の赤ちゃんは先生です』学術研究出版 2018年

松原 洋子（まつばら ようこ）

立命館大学大学院先端総合学術研究科特任教授
1998年お茶の水女子大学大学院人間文化研究科修了、博士（学術）。お茶の水女子大学助手、三菱化学生命科学研究所客員研究員を経て、2003年立命館大学大学院先端総合学術研究科教授。2019年1月から2025年3月まで立命館理事・副総長、立命館大学副学長。旧優生保護法補償金等認定審査会委員。専門は科学史、医学史、生命倫理、科学技術社会論。

著書

『優生学と人間社会』（講談社現代新書、2000年、共著）、『優生保護法関係資料集成』（全6巻、六花出版、2019～2020年、編者）、『『不良な子孫』の出生防止と人権侵害：優生保護法の歴史から』ジェンダー法政策研究所ほか共編『産む権利／産まない権利：リプロダクティブ・ライツの現在』（花伝社、2025年）ほか

URL <https://researchmap.jp/read0093595>

戒能 民江（かいのう たみえ）

お茶の水女子大学名誉教授
専門

ジェンダー法学、ジェンダーに基づく女性への暴力研究
主要な学会・社会的活動

日本学術会議会員、ジェンダー法学会理事長、日本女性学会代表幹事などを歴任

厚生労働省「婦人保護事業等の課題に関する検討会」座長、厚生労働省「困難な問題を抱える女性への支援に係る基本方針有識者懇談会」座長、内閣府「配偶者暴力防止法見直し検討ワーキンググループ」構成員、法務省「法制審議会家族法制部会」委員などを歴任、現在、川崎市男女平等推進審議会委員、横浜市男女共同参画推進協議会評議員、一般社団法人社会的包摂サポートセンター理事、性暴力禁止法ネットワーク共同代表。

関連主著

『ドメスティック・バイオレンス』（2002、不磨書房）、『DV防止とこれからの被害当事者支援』（2006、ミネルヴァ書房、編著）、『危機をのりこえる女たち—DV法10年、支援の新地平へ』（2013、信山社、編著）、『婦人保護事業から女性支援法へ—困難に直面する女性を支える』（2020、信山社、共著）、『困難を抱える女性を支えるQ&A』（2024、解放出版社、共編著）

だいすけ

姫路市出身

そらにじひめじ（兵庫県姫路市）世話人 兼 2番目の利用者でそらにじひめじにひきこもってる人
大学を経て一般企業に就職したが、転職を繰り返し、40才で無職になり、現在までの活動に続く。

URL <https://soranijihimeji.wordpress.com>